

<インディスタインクト+Q 予告 第11話～第13話>

・ 第11話 発生地点と攻撃範囲

北陸地方のN市の飲食店で爆発騒ぎが発生。その後各方面に送られた関東の消印の郵便物の文書には、N市の全飲食店で酒類の飲み放題サービスを中止するようにと書かれていた。

犯人は無理やり酒を飲まされて体調不良を起こした学生がいる大学関係者か、それとも酒に酔った者からの暴力についてのトラブルがあった会社などの関係者か。関東の消印だったことも踏まえ警察は捜査をしていくが…

・ 第12話 冤罪と責任者扱い

二つの警察署と一つの地方検察庁に不審物が発射されて飛んできた。後に文書が送られてきた。

文書は市民に公開されることはなく、最初の不審物の警察署ではある男を慎重に調べることになるが…

・ 第13話 工作の時期を待つ

26歳の女性はある県の天気を確認する。悪天候で交通機関がマヒしてとても「作戦」を実行できそうに無い。作戦決行予定地はその県のある市。悪天候は収まったものの現地で地方自治関連の選挙があると知り、作戦に必要な条件をこう考える。

1. 標的に対する作戦実行時期は、早くても選挙結果が確定した後。さらに選挙の話題が落ち着くまでは待つことになる。

2. 自分がやろうとしていることは選挙がらみの陰謀ではなく、それなりの目的があってのことである。目的をはっきり世に知らせなくては成功とはいえない。

<体験版では第11話の序盤のみ閲覧可能です>